

【はじめに】

『トラウマの解放』を行うにあたって、
チャネリングのスキルを用いて、

「このトラウマ（ブロック）の奥にある原因を教えてください」
「このトラウマが創られたのは、いつ頃ですか？」

などと尋ねても、
必ずしも答えが返ってくるとは限りません。（これですぐに原因が分かれば、一番手っ取り早いのですが^^;）

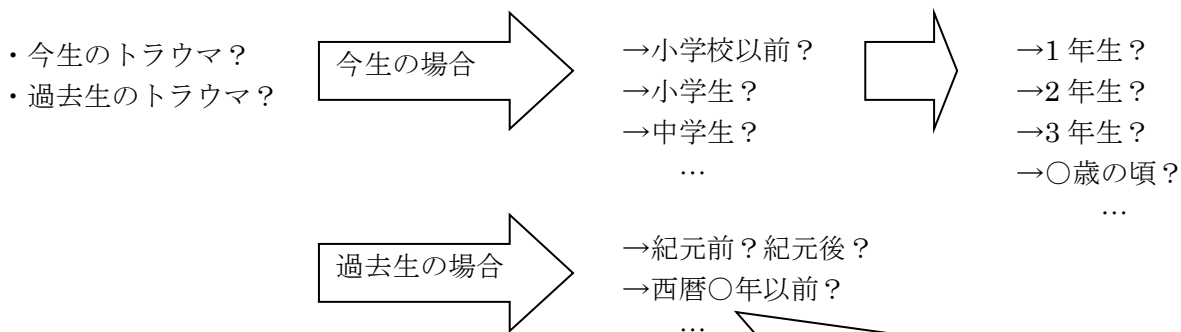
そうした「トラウマの原因を探すのに難航してしまう」という場合に、

「トラウマの原因に関する『時間軸』『分野』『他者との関係性』において、
キネシオロジーやダウジングを用いて、リストに沿って総当たりで YES/NO チェックを行い、
それぞれ、一番強く反応する『要因』をピックアップする。
そして、その『候補』に対して、『そこから連想されるものは何か？』を探っていく」

と、することで、
トラウマの原因を掘り下げるための『手がかり』を、容易に掴むことができます。

【時間軸の切り分け】

『そのトラウマが出来た時期』を、キネシオロジーやダウジング（YES/NO チェック）で切り分けます。



年代の切り分けは、「最初は大まかな質問で、範囲を絞り込んでいく」ようにすると効率が良い。

(例)

トラウマが出来たのは紀元後? →YES: 紀元後。NO: 紀元前
└ (YES) 西暦 1000 年以前? →YES: 西暦 0~1000 年。NO: 西暦 1000 年以降
|└ (YES) 西暦 500 年以前? →YES: 西暦 0~500 年。NO: 西暦 500~1000 年
||└ (YES) 西暦 300 年以前? →YES: 西暦 0~300 年。NO: 西暦 300~500 年
|| ...
|└ (NO) 西暦 1500 年以前? →YES: 西暦 1000~1500 年。NO: 西暦 1500 年以降
...

※高次の世界においては、『時間と空間の概念』が存在しないため、必ずしも、情報の精度は高いとは限らない。
特に、ガイドやハイヤーセルフに尋ねる場合、時間軸に関しては、答えを過信しすぎないことも大事!

【分野の切り分け】

そのトラウマが「どんな分野で創られたものか」「どんな感情を伴っているか」を切り分けます。

- | | | |
|--------|--------|-------|
| ・人間関係 | ・怒り | ・無価値観 |
| ・お金 | ・悲しみ | ・罪悪感 |
| ・性 | ・恥ずかしさ | |
| ・争い、戦争 | ・逃避 | |
| ・事故 | ・挫折 | |
| ・襲われた | ・恐怖 | |
| ・虐待 | ・苦痛 | |
| ・裏切り | ・恨み | |
| ・拒絶 | ・孤独感 | |
| ・処罰、冤罪 | ・敗北感 | |

※トラウマによっては、『複数分野にまたがって反応が出るもの』も存在しますが、この切り分けはあくまで「手がかり」「取っ掛かり」なので、どれから掘り下げていっても構いません。

※『無価値観』『罪悪感』は、他のブロックを包括するため、『「その他」的な位置づけ』となります。

【他者との関係性】

トラウマが人間関係によって創られた場合、『そのトラウマに関わっている人物が誰か』を切り分けます。

- | | | |
|------------|-------------|-------|
| ・親 | ・友人 | ・それ以外 |
| ・子ども | ・同僚 | |
| ・配偶者 | ・上司（主君、師匠） | |
| ・兄弟 | ・部下（使用人、弟子） | |
| ・先祖（祖父母以前） | ・愛人 | |
| ・子孫（孫以降） | | |
| ・親戚 | | |
| ・それ以外の家族 | | |

【セッションの際の使い方】

ブロック解除・トラウマ解放のセッションで、クライアントに対してこのリストを活用する際の手順は、

セラピストが、リストを用いて『クライアントのトラウマの、要因の候補』をピックアップした後、クライアントに対して「この要因に関して、思い当たることはありませんか？」と質問し、出来るだけクライアント自身に『トラウマの原因』を特定してもらおう。

という流れが望ましいでしょう。

本当の意味でのトラウマ解放を行うためには、「クライアント自身に向き合ってもらおう」という姿勢が必須です！